



事業者から見た利用者の上質な暮らし方

これまで、住み替えに関する要望や注意すべき点について利用者視点で述べてきました。しかし、同じ環境で生活されていても、満足されている人、不満をもたれている人がいます。もちろん個人的な人生観などがあると思いますが、それを一番身近に感じているのが職員ではないかと思います。

そこで、今回から6回にわたって、受け入れ側から見た利用者の「上質な暮らし方」について、事業者からの感想を寄せていただこうと思います。

適合高齢者専用賃貸住宅 「イハナハウス」

代表取締役 稲田 幾子氏



イハナハウスは、32㎡～42㎡の16世帯の小さな適合高齢者専用住宅です。現在16人が快適に生活されています。上手に暮らしていただくために、私も運営者側がお願いしているのが「互いの居室を訪問しないこと」です。これまでの運営経験から、お部屋に出入りするような密な関係から、人間関係が壊れることが少なくありませんでした。いってみれば居室とは自分自身の安心できる「シェルター」であってほしいと考えるからです。

非常時、つまり身体の具合が悪い時や一人になりたい時に守ってくれるプライベートな場所だからです。そこに招き入れるのは、自分が望んだ時と、人であること、例えば家族、

友人、関係スタッフ、ヘルパー等でしょうか。集合住宅の暮らし方としては、人間関係はほどほどであることが大切だと思っています。

こうした暮らし方の上手な人付き合いは、朝ゴミ出しや新聞を取り出した折に、顔を合わせたらさわやかな挨拶を交わし合うことが大事だと思います。特定の人といつも行動を共にするようなお付き合いよりは、どなたとも言葉を交わすことができる関係であることが望ましいと思います。さりながら、どうしても苦手な方が出来るかもしれません。そんな時でも会釈程度の挨拶は交わせます。それで充分。いつか、ある日自然にお話する時がきます。不快を与えない程度の普通の常識を意識し



て、それぞれが自分の暮らしを営む所であり、気持ちよく暮らせるコツではないでしょうか。

イハナハウスでは、入居されている人が安心して生活していただくために、24時間シフト制にてスタッフが対応いたします。体調が悪い時の食事のお世話、受診の付添い困りごと相談などに応じています。スタッフには守秘義務が課せられておりますので、どんなことでも相談を持ちかけることができます。誠意をもつて一緒に考え常に一番良い方法は何かを心掛けて相談に応じています。入居者の方々は

日頃、自分自身の身の周りや、健康保持等に責任をもつて日々過ごされていますが、上手な入居者は悩みを抱え込まないで助けが必要になったら率直に伝え、サービスを活用されています。

高齢者賃貸住宅「イハナハウス」では入居者同士の交流の場として特に大切にしているのが食事サービスです。食べることはみんな楽しみ、それだけに作る方にも力が入ります。健康を考えた内容は勿論ですが四季折々の香のある食材に話も弾みます。産地の思い出話、色の鮮やかさ、タペの魚の残りが巧みに朝のサラダに入っていることでも話題に発展し、アットホームな雰囲気を楽しみます。居室で食事作りを楽しんでおられる方も、旬の料理が出る時にはお誘いします。団樂が格別のソースにもなり、しつかり召

し上がっていただいています。よく部屋が狭いといった声を聞きます。いつも申し上げることは一つ、新しい生活をどう作るかということです。

今までの家をそのままに持つてくるのではなく、自身で環境を整えられる範囲を考えていただきます。家具類の使用はいずれも必要最小限にし、狭いよさを理解していただいています。掃除が簡単に済ませられること、欲しい物にすぐ手の届くことまた物が多い程探し物が大変になります。上手に工夫されている方の部屋は、懐かしく大切な物を選び、使い勝手のよい家具類をそろえて心豊かに暮らしておられます。やがて身体状態に合わせて、手すりや歩行器も必要になるので、できるだけシンプルな佇まいが大事だと思えます。新生活に入るときにはしつかり判別して捨てる勇氣を持っていた

きたいと思えます。

高齢者専用賃貸住宅は比較的新しい制度ですが、イハナハウスは全国で初めて適合高専賃に届け出た住宅です。様々な社会資源を活用しながらもしつかり終の棲家足り得る運営のありようを模索実行しているところです。

入居者の中には身体が思うように動かなくなってきた人もいますが、日々の暮らしに楽しみを見付けられています。決まった趣味でなくとも、連続ドラマが楽しみ、お気に入りのスイーツを楽しむ、朝の散歩を欠かさずされている方など毎日の楽しみをもたれている人が、やはり元気に生活されています。集合住宅で暮らす仲間への関心はほどほどと心得、精神的にもライフスタイルにも、自分の暮らす姿勢、生きる姿勢をもつことが、楽しく、快適に暮らすコツではないでしょうか。